

## 化学療法サポートナースって？

医師の指示に基づき、「抗がん剤投与に適切な血管の選択、正確な血管穿刺技術と知識を習得し、安全に静脈穿刺（ノンピシカントのみ）とCVポート穿刺を実施できる院内認定を受けた看護師」

昨年の6月から「抗がん剤投与における静脈・CVポート穿刺及び投与管理に必要な知識と技術を習得し、安全な投与管理ができる」を目的として、CVポート・静脈穿刺を安全に実施する為の教育内容で、セミナー6回全受講・穿刺実技チェック・筆記テスト(80点以上合格)を終了しています。現在はがん化学療法看護認定看護師指導のもとで、実際に化学療法患者のCVポート穿刺を実践中です。

3月までには全て終了し、院内認定の化学療法サポートナース誕生予定です。受講者14名が役割意識を持ち、取り組んでいます。温かいご支援をよろしくお願いします。

【がん化学療法看護認定看護師 川崎由紀子】



病棟でのCVポート穿刺

## 「スキン-テア」という言葉を聞いたことがありますか？

スキン-テアとは日本創傷・オストミー・失禁管理学会で『摩擦・ずれによって、皮膚が裂けて生じる真皮深層までの損傷（部分層損傷）をスキン-テア（皮膚裂傷）とする』とされています。例えば、

- ・四肢がベッド柵に擦れて皮膚が裂けた
- ・絆創膏を剥がすときに皮膚が裂けた
- ・車椅子等の移動介助時にフレーム等に擦れて皮膚が裂けた など



テープ剥離時に発生



ベッド柵にぶつけて発生

このような摩擦やずれによる皮膚の損傷で、日々の行動やケアの場面でも容易に発生する創傷です。特に乾燥している肌やステロイドを使用しているなど、高齢者や脆弱な皮膚の方に発生しやすくなります。スキン-テアには外力から皮膚を保護することや保湿を行うなどの発生予防と発生後の創傷管理方法があります。日常生活の中で起こることもあり、医療者だけではなく、患者さま・ご家族にも皮膚を守る知識と技術を伝えていくことが重要になります。

現在、スキンケアナースや褥瘡対策委員にスキン-テアについて伝えており、少しずつ対応がされるようになってきています。来年度には、皮膚・排泄ケア認定看護師として、研修を行うなど院内全体で予防や管理ができるように取り組んでいきたいと思っています。

【皮膚・排泄ケア認定看護師 中島由香里】

日本創傷・オストミー・失禁管理学会ホームページより写真使用

## ～長期研修者報告会～

1月8日、長期研修者報告会が開催されました。ICUの阿立さんが「専任教員養成講習会」、外来の鼻崎智美さんが「がん放射線療法看護認定看護師教育課程」、看護部の金子淳子主幹が「認定看護管理者教育課程」へ参加された研修での学びを発表されました。また、宇久診療所の原口栄子さんが「宇久診療所での医療・看護」について話をされ、ICUの立石が集中ケア認定看護師更新を終えてこれからの活動取り組みを発表しました。それぞれの学びや思いを熱く語っていただき、充実した報告会となりました。沢山のスタッフの皆さんのご参加、ありがとうございました。



【集中ケア認定看護師  
立石奈己】

